

AICHI STEEL

つくろう、未・来を。
つくろう、素・材で。

第117期中間報告書

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)



2020年12月25日まで

株主様アンケート実施について

ご回答いただいた株主様の中から抽選で100名様に「Amazonギフト券500円分」をお贈りいたします。何卒ご協力をお願い申し上げます。

<https://q.srdb.jp/5482/>

アンケートに関するお問い合わせ先

kabu@takara-print.co.jp

※平日17時以降、ならびに土、日、祝日および年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。



本株主アンケートプレゼントは愛知製鋼株式会社による提供です。本株主アンケートプレゼントについてのお問い合わせはAmazonではお受けしていません。愛知製鋼株式会社までお願いいたします。お問い合わせ：hp-aichi-info@he.aichi-steel.co.jp Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。



愛知製鋼ブランドサイトのご案内

お知らせ



つくろう、未・来を。
つくろう、素・材で。

上記ブランドスローガンに込めた想いへの
理解を深めていただけるブランドサイトをオープンしました。
ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.aichi-steel.co.jp/brand/index.html>



代表取締役社長
藤岡 高広

■ 当上半期の総括

7～9月に主に自動車製造業などで需要の回復が進んだことに加え、原価低減による収益改善があったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う国内販売数量減少および海外子会社の売上減少などにより、27億円の営業損失(当初予想は55億円の営業損失)となりました。

この結果を受け、誠に遺憾ながら中間配当は無配とさせていただきました。

■ 通期の見通し

当下半期は鉄スクラップ価格が当初の想定値を上回る価格で推移することが見込まれるものの、引き続き収益改善活動を推進することにより、通期では15億円の営業利益を見込んでおります。

なお、先行き不透明な状況が続くことから、通期の配当は現時点では未定としております。

株主のみなさまには深くお詫びを申しあげるとともに、早期に復配ができるよう、当社グループ一丸となって鋭意努力してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

■ 当上半期の業績

売上高

848 億 30 百万円

前年同期1,247億99百万円

営業利益

△ 27 億 8 百万円

前年同期59億63百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益

△ 17 億 74 百万円

前年同期39億43百万円

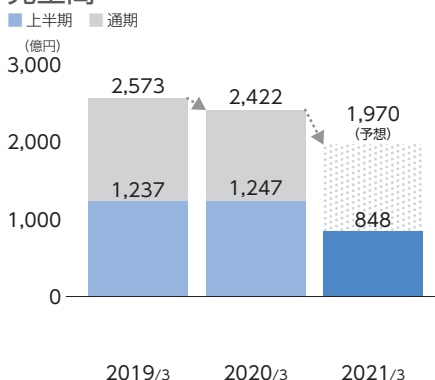
配当金

0 円

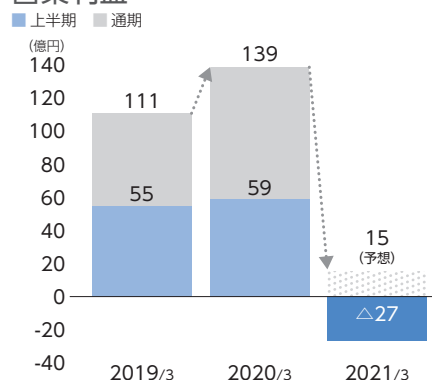
前年同期 60 円

■ 業績の推移

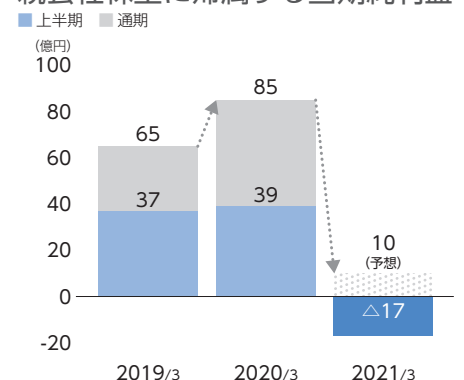
売上高



営業利益

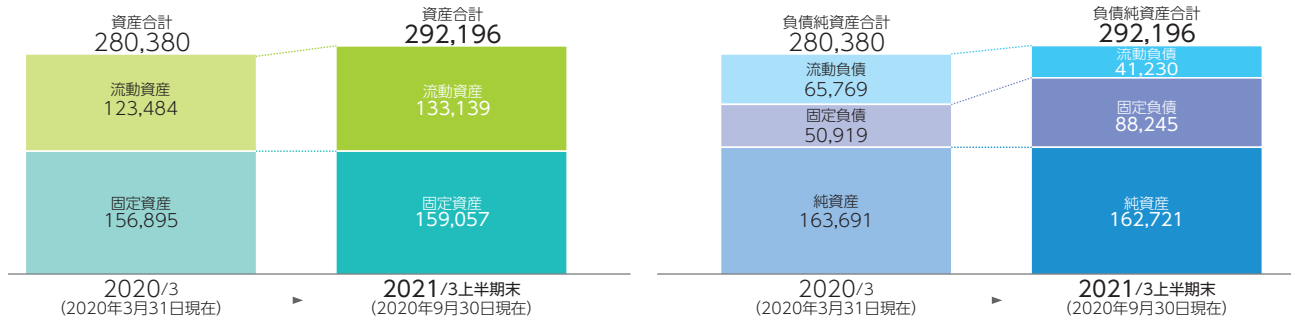


親会社株主に帰属する当期純利益



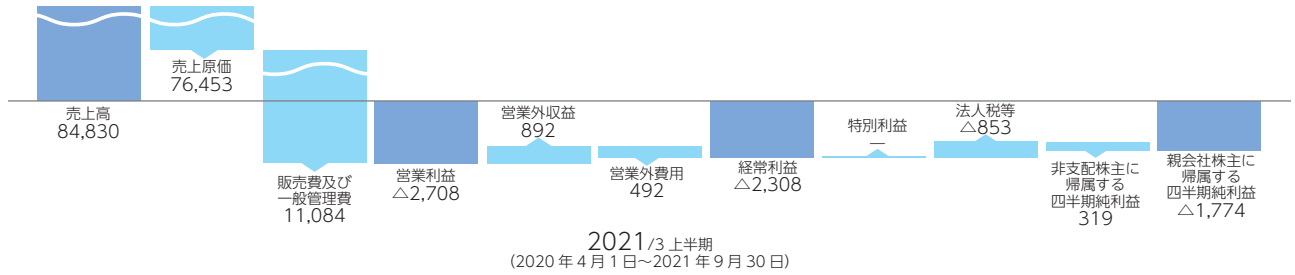
財務の状況

(単位:百万円、未満切り捨て)

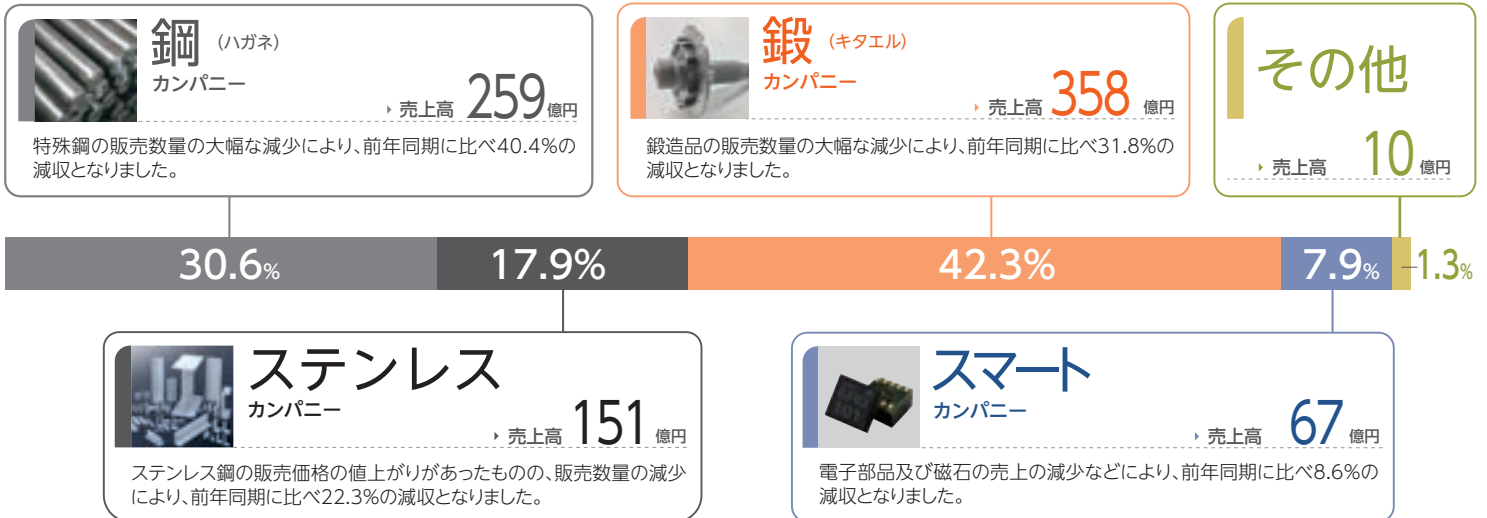


収益の状況

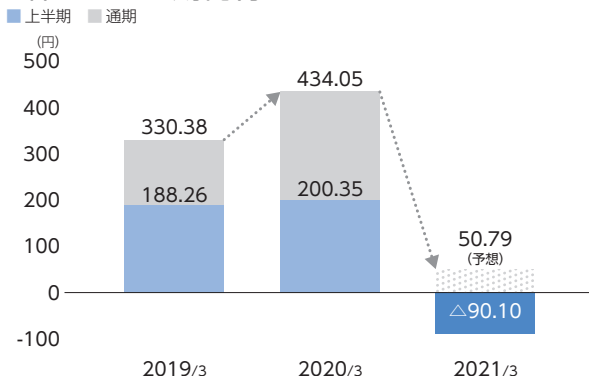
(単位:百万円、未満切り捨て)



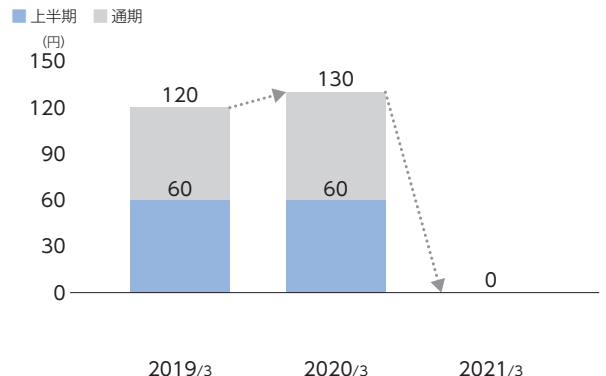
カンパニーおよび売上構成



1株当たり当期純利益




配当金



※2021年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定です

当社グループが、これからの10年間で到達したい姿を明確にしたもので、基本方針に「事業とモノづくりの変革で収益力を向上させESG経営を実践」を掲げています。持続可能な地球・社会に向け、ビジョン達成への取り組みを通じ、地球・社会・人への貢献を果たすとともにSDGs達成にも寄与し、存在価値ある持続可能な企業であり続けます。



対応すべき環境変化	地球環境の変化	 <p>地球温暖化の深刻化 生物多様性への配慮</p>	スマート社会の到来	 <p>自動車業界が迎えた 100年に1度の大変革期 IT/AI技術の発展</p>
	既存マーケット環境の変化	 <p>社会インフラの老朽化 海外メーカーとの競争激化</p>	社会環境の変化	 <p>少子高齢化の進行 感染症の爆発的な流行</p>

2030年ビジョン

指針	持続可能な地球環境への貢献 	事業の変革で豊かな社会を創造 	従業員の幸せと会社の発展 
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境責任を果たす 環境危険物質ゼロ化 自動車リサイクル 100% ■ 低炭素社会に貢献 業界 No.1 のエネルギー効率実現 排熱、再生可能エネルギーの活用 ■ 自然との共生 生物多様性を守る活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存事業の変革 電動車用素材・部品の開発 インフラ用ステンレスの提供拡大 ■ 新分野（スマート）へ事業展開 医療・農業・セキュリティ分野への進出 自動運転支援システム (GMPS) の実用化 ■ モノづくりからコトづくりへ 開発力、エンジニアリング技術向上 トヨタ生産方式の更なる活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全・安心な職場環境 災害ゼロの実現 ハラスメントのない職場風土 ■ ワーク・ライフの充実 やりがい、生きがいの醸成 働き方改革の推進 ■ 自律型人材の育成 スタッフの生産性向上 個性と多様性の尊重

到達目標	2030年ビジョンの達成で 持続可能な地球・社会に貢献			
	連結売上高 3,400 億円以上		連結営業利益 200 億円以上	
	鋼カンパニー	ステンレスカンパニー	鍛カンパニー	スマートカンパニー
	モビリティ社会の発展に貢献する特殊鋼トップメーカーへ	ステンレス鋼材・エンジニアリングでサステナブル社会実現に貢献	熱間鍛造品メーカーから部品完成品メーカーへ進化	素材と技術で世界の人々に安全と安心を

統合レポートのご案内

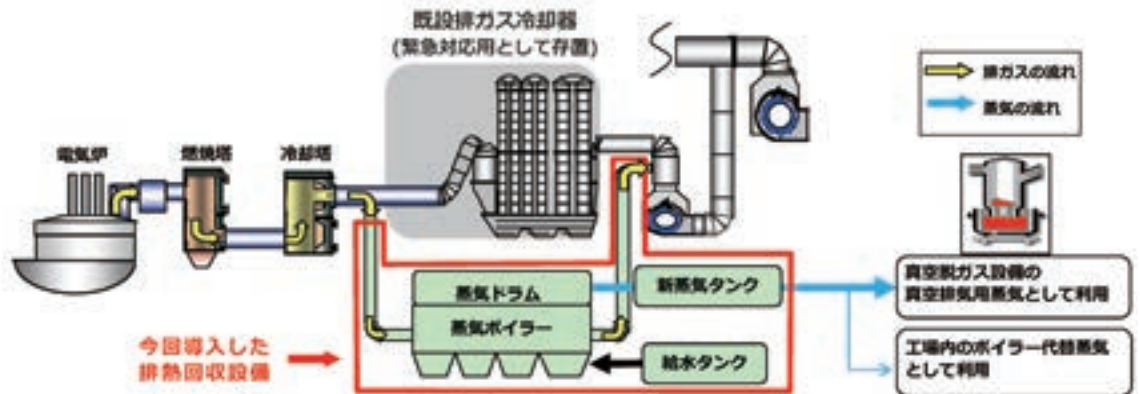
当社初の統合レポートにて、2030年ビジョンの詳細をご説明しております。
 下記URLもしくは右記のQRコードからぜひアクセスください。
https://www.aichi-steel.co.jp/csr/csr_report/pdf/20/2020_all.pdf?v3



1
TOPICS国内初 電気炉排熱の蒸気エネルギーへの変換・活用によるCO₂削減

省エネルギーなどを含めたESG経営を実現するための鋼材生産プロセス改革の一環として、電気炉の排熱を蒸気エネルギーとして変換し、他の製鋼設備で有効活用する排熱回収設備を建設しました。国内電気炉業界として初めての事例であり、年間約4,200トン相当（一般家庭の年間電力 約1,000世帯相当）のCO₂削減が見込まれます。

「2030年ビジョン」で定めた環境基本方針に基づいて、資源循環型企業としてCO₂排出削減を強力に推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2
TOPICS

グローバルな需要拡大を続ける、自動車の電動化への対応

～岐阜工場 パワーカード用リードフレーム第2ライン竣工～

岐阜工場にて、HVやEVなどの電動車に必要な不可欠な放熱部品「パワーカード用リードフレーム」の第2ラインを竣工しました。本ラインは、プレスからめっき処理までの全工程を完結できる一貫自動ラインとして、形状や量の変化に柔軟に対応しながら、多品種の製品を高品質かつタイムリーに生産できます。需要が急拡大する中、安全・安心なモノづくりで、お客様の需要に、確実に対応していきます。



岐阜工場 第2ライン (プレス加工)



岐阜工場 第2ライン (めっき処理)

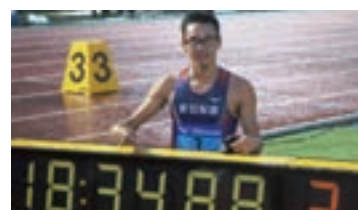
3
TOPICS

全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 5000m競歩にて、山西選手が優勝

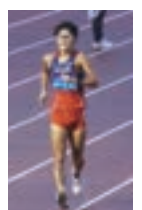
山西利和選手が、「第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」の男子5000m競歩に出場し、18分34秒88（大会当時、アジアおよび日本新記録）で初優勝しました。大会では、初めから先頭に踊りだして歩みを進め、2500m手前から独歩状態でゴールまで突き進みました。

山西選手は、2019年10月に行われた「第17回世界陸上競技選手権大会（男子20km競歩）」で日本人初優勝を果たし、東京オリンピック出場内定を決めています。

また、丸尾知司選手も同競技に出場し、19分11秒45の自己新記録を打ち立て、4位に入賞しました。



初優勝した山西選手



自己新記録を更新した丸尾選手

■ 会社の概要

社名	愛知製鋼株式会社
設立	1940年3月8日
資本金	250億1千6百万円
営業品目	鋼材、鍛造品、電磁品、その他
本社	〒476-8666 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地 TEL 052-604-1111 (代表)
営業拠点	東京、大阪、福岡
工場	知多工場/東海市(特殊鋼条鋼) 刈谷工場/刈谷市(ステンレス形鋼) 鍛造工場/東海市(鍛造品) 東浦工場/東浦町(電磁品) 岐阜工場/各務原市(電磁品) 関工場/関市(電磁品) 電子部品工場/東海市(電子部品)
従業員数	(連結) 4,929名 (単独) 2,765名

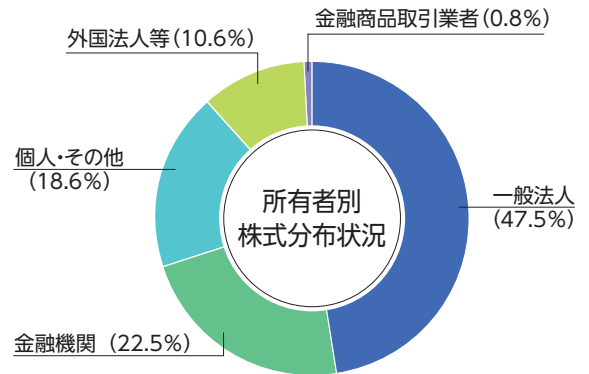
■ 役員

代表取締役社長	藤岡 高広	常勤監査役	知野 広明
代表取締役副社長	中村 元志	常勤監査役	後藤 卓
取締役	安永 直弘	社外監査役	伊藤 浩一
取締役	小島 勝憲	社外監査役	小倉 克幸
社外取締役	安井 香一		
社外取締役	新居 男子		

■ 株式の状況

発行可能株式総数	47,600,000 株
発行済株式の総数	19,886,675 株
株主数	9,289 名

■ 所有者別株式分布状況



■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 千株	出資比率 %
トヨタ自動車株式会社	4,715	23.94
日本製鉄株式会社	1,531	7.77
株式会社豊田自動織機	1,360	6.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	813	4.13
株式会社三井住友銀行	491	2.50
株式会社三菱UFJ銀行	474	2.41
東和不動産株式会社	461	2.34
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	433	2.20
第一生命保険株式会社	304	1.55
愛知製鋼従業員持株会	299	1.52

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

